

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

大 川 保 育 園

第三者評価の再評価を受けるに当たり、職員全員で再度の見直しを行いました。

前回、ご指摘頂いた改善点については、参加直後に改善をし、記録の整理、書類の整備等行いました。しかし、初めの参加より7年も経過していましたので、現在では違う表現の文言や加筆修正の必要な箇所があり、評価を受ける時だけではなく、毎年の評価項目の検討が必要と反省しました。

今回、再評価を決めた時、職員へは「もう一度すべての項目を見直していこう」と言葉をかけ、園長、主任、保育士、調理員、事務員、用務員とそれぞれ職種は違うけれども、その立場からの視点で確認していきました。

確認作業はクラス、未満児、以上児、給食、事務、管理者等の単位、そして全体で行いましたが、もうすでに当たり前の事のようにになっている書類の記録、その整備やマニュアルの存在に自園のたくましさ、誇らしさも感じる事が出来ました。

そしてまた、職員一人ひとりの意識は高まり、保育の振り返りが出来ました。それは、第三者評価事業でご指導頂いたからだをつくづく感じた事でした。

理念である子どもの健全な心身の育成、子どもの幸せのために、保護者が安心して仕事に打ち込めるために、地域にここに保育園が在って良かったと思われるために、皆で努力し研鑽を積んでいこうと思います。

今後も、自園の保育に誇りを持ち、且つ真摯に保育という仕事に向き合っていきます。